

隠岐の島町立五箇小学校 心に残る文化財子ども塾

1. 活動の概要

6月13日(木)、隠岐の島町立五箇小学校の6年生のみなさんと、「昔の人々の生活を体験しようー五箇の古墳と勾玉作りに挑戦！」と題して、学校周辺の古墳や古墳時代の生活について学びました。

当日は、まず教室で隠岐の島町教育委員会の方に、縄文時代から古墳時代に至る歴史について概説してもらいました。その後、五箇の遺跡や古墳について詳しく学び、五箇小周辺にも100基以上の古墳があることに驚きの声があがりました。

続いて、隠岐の古墳から出土した本物の土器や勾玉を用意し、実物の出土品に触れるという貴重な体験を通して、古代出雲の玉作の歴史や、勾玉のもつ意味や形の不思議さなどについて、理解を深めてもらいました。

最後に、ロウ石を使った勾玉作りにチャレンジしました。最初は、石の削り方がわからずに四苦八苦していた児童もいましたが、次第に道具の使い方にも慣れてきて、自分なりの削り方を開発したり、互いに教えあったりしながら、楽しく体験活動を行うことができました。最後には、それぞれが個性のある勾玉を作り上げることができ、粉まみれになりながらも、充実した体験活動が行えたようです。昔の人は道具もない時代に、どうやって固い石を磨いたのか、体験活動を通して、当時の人々の生活を考えるうえで貴重な経験になったと思います。

今回参加してくださった五箇小学校の児童や先生、準備や講師としてご協力をいただいた隠岐の島町教育委員会のみなさん、ありがとうございました！

2. 活動の様子



↑「五箇には古墳が100基ありまーす！」



↑「マジか・・・」



↑「本物の勾玉にさわった！」



↑「自分だけの勾玉を作りたい！」

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから(心に残ったこと)

- ・作る前は楽しそうだなと思っていたけど、作ってみるとすごく疲れました。勾玉をつくっていた人は大変だなと思いました。
- ・次は石磨き体験をしてみたいです！
- ・五箇小の近くにも古墳があることと、自分で形をけずったりして楽しかったです。
- ・ほんものの勾玉を見れたことです。理由は今までは写真でしか見たことなかったけど、触ったりできたからです。

② 担任の先生から

- ・勾玉が作られた歴史的な背景を教えていただけたことが良かったです。また、実物があったことによって関心が高まったと思います。

③ 埋蔵文化財調査センターから

座学では、自分たちの身の回りにもたくさんの文化財があること、自分たちが文化財の発見者になるかもしれないことなど、地域の歴史について沢山のことを学んでもらいました。

勾玉作りでは、思うように形が作れず四苦八苦する中で、自分なりの磨き方を工夫し、目的の形をつくる難しさと達成感を経験してもらいました。

今回の学習を通して、地域の歴史・文化に関心を持ってもらうとともに、文化財を身近に感じてもらえるとうれしいです。